



12月の園だより

学校法人志賀学園

松の実こども園

令和4年12月1日

パンジーやノースポールなど、冬を越す花の苗の植え替えがあちらこちらで見られ、冬支度の準備が進められていることを感じます。現在サッカーワールドカップカタール大会が開催され、日本代表が強豪ドイツを破り、第2戦コスタリカに敗戦したものの、第3戦のスペインに勝てば決勝トーナメント進出ということで、日本中が応援に盛り上がっているところです。

さて、園では12月10日に生活発表会を控え、劇あそびやダンスなどが盛んに行われています。園舎内に元気な声が響き、子どもたちの弾む心情が伝わってきます。さくら組の子どもたちは『ふしぎのくにのアリス』の言語劇を行います。最近では一人ひとりが台詞を大分覚えてきてお話がスムーズに運ぶようになってきました。すみれ組は『アンダー・ザ・シー』『ルージュの伝言』のダンスと「白雪姫」の音楽劇を行います。お部屋で曲がかかると自然に体が動いて、お友だちの曲も全部覚えて踊っています。ばら組は「ジングルベル」「Bedtime Story」のダンスと「てぶくろ」の音楽劇を先生と一緒に表現して楽しんでいます。この日のために、先生方も子どもたちの演技が引き立つよう心を込めて、飾りや小物、小道具や大道具を作っていますので、併せてご覧いただけたらと思います。

もも・たんぽぽ・ちゅうりっぷ組の皆さんは先生手作りの衣装を身につけダンスを踊って、後日動画配信します。保護者の皆様、どうぞ楽しみにしててください。

リハーサルと当日は、執行部役員の皆様には大変お世話になります。当日はお子さん一人に対して保護者3名のご観覧ということで、昨年度より1名多くご覧いただけます。プログラムにつきましては、学年混合での発表も考えましたが、まだ新型コロナウイルス感染症も増加傾向にありますので、昨年同様クラスごとでの発表とさせていただきます。引き続き、感染対策にご協力いただきながら、子どもたちの健全な成長を願い、園とご家庭とが連携して気をつけて生活していきたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。

また、12月22日(木)は冬至です。冬至は二十四節気の一つで1年で一番昼が短く夜が長い日です。この日を境にだんだん夜の時間が短くなり、昼の時間が長くなっていきます。冬至の日は柚子湯に入って温まりカボチャを食べて無病息災を願います。柚子にはビタミンCが豊富に含まれていて、食べると風邪をひきにくくなり血行促進や鎮痛作用があります。カボチャにはビタミンEやβカロチンが豊富で老化防止や免疫力を強化します。これから寒くなりますので、体を温めて風邪に負けない強い体をつくりましょう。